



もりっこ

第34号

通信

<理事長挨拶> 『現代の三間はどこにあるのか』

新型コロナウイルス感染症が世間を騒がせ始めてからもうすぐ3年が経過しようとしています。この間に、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化してきました。マスクの着用に始まり、黙食、友だちや地域の方と関わる機会の減少、それに伴う、まだ可視化されていない成長への弊害など…これから少しずつ明らかになっていくのだと思いますが、子どもたちが失ってきたものは大きいと思います。

学校や幼稚園・保育園等でも多くの制限が発生し、今まで当たり前に行ってきたことが実施できなくなっています（良い方向に動いたものもあると思います）。その影響を受けて、自然体験活動の中で大切にしてきた三間（時間・空間・仲間）が子どもたちの生活から損なわれているような感覚を私は覚えます。今までのような形は難しくても、方法や形を変えることで補えるのではないかと活動に取り組む方も多いと感じます。

大人が今までの「当たり前」に捉われず、子どもたちが様々なことを感じ、学べる場を作っていくという意識が大切なのだな～と思う日々です。これからも実践を続けていきたいと思っています。 理事長 棚島隼人

◆8/11（木祝）放課後等デイサービス スリーナイン：森遊び

デイサービスに通う子どもたちにも森遊びの楽しさを体験させてあげたいと、指導員さんが企画してくれました。普段の生活ではなかなか機会がない子どもたちも、森の中での様々な出来事・遊びを楽しんでくれました。男の子たちは特に火遊びが楽しかったようで、スタッフと一緒に試行錯誤しながら火を育ててくれました。今回の体験を機に、これからも自然の中に飛び出して遊びを充実させてくれたら嬉しいです。（めで島）



◆8/20（土）群馬県母子寡婦協会キャンプ

数年前のご縁から、久しぶりにお声かけいただきました。コロナウイルスの影響で小規模での開催となりましたが、親子でカレー作りやキャンドルファイアー、コンサートなどを楽しみました。あいにくの天気となってしまう、雨の中で野外炊事を行いました。子どもたちは雨にも負けず料理と火おこしを楽しんでいました。家庭環境などにより体験活動が実施しにくいことがあり、それでも多くの人に体験の機会を届けたいと奔走する母子寡婦協会事務局の方の熱意に、たくさんのことを学ばせていただいた気がします。（めで島）



◆8/27（土）NPO法人 iitoko

障害をお持ちの方とそのご家族を支援する活動を行っている「iitoko」と一緒に森遊びをしました。自然の中で過ごすことが子どもたちだけでなく保護者の皆さんにもリフレッシュになったようです。普段から「フードドライブ事業」などを行っているため、多くの寄付食材を持参してくれました。中には特上牛肉の姿も！森の中で火を起こし、みんなてテーブルを囲んで調理して、遊び疲れた体で美味しい食べ物を味わい尽くす。もしかしたら、子どもたちよりも大人の方が嬉しい一日だったかもしれません。もちろん、子どもたちもたくさん遊んで喜んでくれたと思います。（めで島）



◆10/1（土）NPO法人 ストライダーキャンプ

ストライダーを購入した方向けのイベントが開催され、その中の目玉プログラムであるキャンプファイアのお手伝いをさせていただきました。日中はストライダーを使ったアトラクション、子どもも参加できるワークショップや様々な体験コーナー、子どもたちのお手伝いで完成するキャンドルロードの作成など、本当に盛りだくさんなイベントです。辺りが暗くなってくると、たくさんの親子が集まってきてくれました。火の使いの役は子どもたちから公募し、チャレンジしてもらいました。無事に点火され、その後は多くの親子と一緒に歌って踊って楽しい時間を過ごしました。（めで島）



子育てわんパーク in MAESOUの様子、お見せします！

今年度より実施している「子育てわんパーク in MAESOU」は11月末で計16回の実施となりました。区切られた芝生の広場に屋根付きの広場が二か所。隣には、グランピングのテントまで張られています。共催していただいている「ひまわりこども園」さんから、乳幼児向けの玩具もお借りして活動しています。秋は小さいお子さん連れでも外遊びをしやすい季節ですね。日差しを感じながらのんびり過ごしたり、園にある普段は使わない玩具でじっくり遊んだり、子育て中のお母さん同士が他愛もない話で盛り上がりたり…子育て支援広場の機能を果たせるようになってきた気がします。ぜひ一度お出かけください！ (めで島)



【森のようちえん事業報告】

①森のようちえん事業

【幼稚園・保育園を対象とした事業】

- ◆森のようちえん・森のほいくえん
園向けのプログラム提供(原則、金曜日のみ)
8月～11月 14件 参加延べ人数456人
(内、引率の先生67人)

②指導者派遣(8月～11月)

【関係団体の講習会、研修会などへの派遣】12件
保育士等キャリアアップ研修 講師(東京都等)
短大野外環境教育実習 講師
母子寡婦協会キャンプ 運営補助
児童発達支援施設 自然体験活動の指導 等

③主催事業(13件)

- ・親子の森のようちえん(年少～年長の子どもとその親)
④9/4(日) 11組25人
⑤10/15(日) 9組21人
⑥11/27(日) 中止 計20組46人
 - ・もりっこ(年長～小2の子ども)
④8/7(日)17人 ⑤9/23(金祝)台風のため中止
⑥11/6(日)18人 計35人
 - ・子育てわんパーク 計7回実施
参加組数:56組 人数計130人
- 総数211人 ①②③ボランティアスタッフ 延べ114人

その他、受託事業等の参加人数

- ・8/11(金祝)放課後等デイサービス スリーナイン:25人
 - ・8/20(土)母子寡婦協会キャンプ:37人
 - ・8/27(土)NPO法人 iitoko 自然体験活動受け入れ:34人
 - ・8/29(月)～8/30(火)秋草学園短期大学 野外環境教育実習:39人
 - ・9/11(日)上毛新聞 TR イベント:40人
 - ・10/1(土)ストライダーキャンプ キャンプファイア指導:250人程度
 - ・10/22(土)チャイルドハウスゆうゆう 自然遊び:24人
 - ・11/13(日)チェアリング in MAESOU 自然遊びコーナー運営:概ね1400人程度見込
 - ・保育士等キャリアアップ研修(計3回:集合・オンライン研修)80人
- 企業からの受託事業が増えてきています。企業と連携することで、より多くのこどもたちに体験の機会を届けることができるようになってきたと感じています。

【賛助会員・寄付のお願い】

あかぎの森のようちえんでは、法人の方針でもある『自然を使って身近な社会の課題を解決し合える社会をつくります』の趣旨に賛同して下さる方々からの寄付を募集しております。支援の方法は2つあります。

- ①活動全般へ寄付をする ②賛助会員になる ～～ 詳細は、事務局までお問合せください。 担当: 櫛島

【ボランティア大募集!】

あかぎの森のようちえんでは、森の中で子どもたちと遊んでくれるボランティアさんを大募集しています。平日、週末と活動をし、ております。興味がある方は事務局までご連絡ください。主な内容は、子どもたちと一緒に遊び、子どもたちの安全を保つことです。関わる上で大切な「あかぎの森のようちえん」の活動の主旨などもご説明いたします。担当までご連絡ください。 Mail: info@akagi-moriyou.com 担当: 櫛島(めで島)

特定非営利活動法人あかぎの森のようちえん
代表 櫛島 隼人(めで島 はやと)
090-9006-8711 info@akagi-moriyou.com
〒379-2206 伊勢崎市香林町1丁目90-3
<ホームページ> <https://akagi-moriyou.com>
～～～【あかぎの森】で検索!～～～



Facebook



instagram



LINE@



Web

様々な媒体で情報発信しています。ご覧ください!